

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年 7月26日更新

事務事業名		LED街路灯導入促進事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	総務部	課長名	木永 和博
	施策	22	地球温暖化防止対策の推進			所属課	交通防災課	担当者名	白濱 裕
	施策の柱	64	地球温暖化防止対策の推進			所属班	交通防災班	(内線)	1215
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 4	事業連番 11613	根拠法令	地球温暖化対策推進事業費補助金交付要綱		成果優先度評価結果 : ⑧ コスト削減優先度評価結果 : ①
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 26 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	地球温暖化対策推進事業費補助金(リース事業)を活用してLED化を行なった市内防犯灯827台の支払及び管理を行う。
【業務の流れ】	合志市LED防犯灯導入リースの支払事務 H27年度(4月~3月) 毎月払い H26.4月~H35.3月(リース期間)10年間
【主な予算費目】	LED照明導入補助事業(リース)3,991,680円/年
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動)29年度実績(29年度に行なった主な活動)(DO)	地球温暖化対策推進事業費補助金(リース事業)を活用してLED化を行なった市内防犯灯827台の支払及び管理を行なった。	30年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) ・リースを継続する
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	ア:改修台数 イ:	(単位)台 予算の主な増減の理由 本体故障以外の修繕費(タイマー故障など)の増
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 防犯灯		②対象指標(対象の大きさを表す指標) ア:防犯灯 イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 電気料金の削減、CO2の削減		③成果指標(意図の達成度を表す指標) ア:電気料金削減額(年間) イ:CO2削減量(年間)
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	27年度 実績(決算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	31年度 予定	32年度 見込	33年度 見込
① 活動指標	ア	台	827	0	0	0	0	0	0	0
	イ									
② 対象指標	ア	台	827	0	827	0	827	827	827	827
	イ									
③ 成果指標	ア	千円	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	イ	%	60	60	60	60	60	60	60	60
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	3,992	4,493	4,232	4,254	4,232	4,232	4,232	4,232
	(A)事業費計	千円	3,992	4,493	4,232	4,254	4,232	4,232	4,232	4,232
人件費	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	0	0	1	3	1	0	0	0
	延べ業務時間	時間	0	0	0	180	0	0	0	0
(B)人件費計	千円	0	0	0	712	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	3,992	4,493	4,232	4,966	4,232	4,232	4,232	4,232	

事務事業名	LED街路灯導入促進事業	所属部	総務部	所属課	交通防災課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 本体故障はなく改修はなかった。次年度においても耐用年数内であり、維持管理に努め改修なく運用できる見込みである。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 リース台数はすべて設置済みであるため、向上の見込みはない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 LED防犯灯はリース契約となっており、類似事業はなく統合はできない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 リース契約にかかる経費が主であり、削減の余地はない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 毎月のリース料支払いや、タイマー故障があった場合の現地確認・修繕発注などに必要な時間数であり、削減できる余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市民の交通安全確保のために設置された防犯灯であり、公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 交通安全施設の設置・管理は行政の責務であり妥当である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

今後においてもリース事業の継続を行っていく

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>LED防犯灯をリースで導入したことにより、従前の維持管理経費と比較し、経費削減及び本体の耐用年数が向上した。今後も維持管理を適正に実施し、交通安全の確保に努めたい。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						